

令和5年度

学校関係者評価委員会報告書

令和6年3月31日

学校法人ファースト学園
専門学校ファースト学園金沢校
学校関係者評価委員会

目次

I. 学校関係者評価の実施

- (1) 学校関係者評価の概要
- (2) 学校関係者評価委員会委員名簿
- (3) 学校関係者評価委員会日程
- (4) 学校側出席者名簿

II. 学校関係者評価の結果

- (1) 重点目標に関する評価・意見
- (2) 評価項目ごとの評価・意見

I. 学校関係者評価の実施

(1) 学校関係者評価の概要

学校の教育目標、計画に沿った取り組みの達成状況、学校運営等への取り組みが適切に行われたかについて自己評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。

自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、設置学科に関連する企業・団体、卒業生、保護者など、学校と密接に関係する者の理解促進を図り、継続した連携協力体制を確保するため、業界関係者、卒業生、保護者等学校関係者から規定に基づき選任した委員による「学校関係者評価委員会」を設置し「学校関係者評価」を実施する。

当該委員会の委員の助言、意見などの評価結果を学校運営等の改善に活用する。評価結果と改善への取り組みを本校ホームページに掲載し広く社会へ公表する。

(2) 学校関係者評価委員会委員名簿

氏名	所属	選出区分
西川 珠紀 氏	第一学院高等学校金沢キャンパス	高等学校
坂本 博 氏		地域住民
竹田 太志 氏	株式会社C8LINK 代表取締役	関係業界
岩井 麻紀 氏		保護者
角谷 直人 氏	株式会社トゥディック	卒業生

(3) 学校関係者評価委員会日程

1. 令和5年6月29日（木） 18:00～20:00
2. 令和6年2月16日（金） 16:30～18:30

(4) 学校側出席者名簿

氏名	所属
加藤 泰博	校長兼事務局事務長
山上 むつき	副校長兼情報システム科・情報ビジネス科 学科長
片口 瑞穂	グローバルコミュニケーション科 学科長
南 忠志	事務局長
荒田 真一	情報システム科・情報ビジネス科 主任
羽場 和馬	広報 主任

II. 学校関係者評価の結果

(1) 重点目標に関する評価・意見

1. 教育内容の質向上
<p>【評価】 4</p> <p>【意見】</p> <p>◇第1回</p> <ul style="list-style-type: none">・社会に役立つ実践的授業の実施・検定合格率のUPなどの取り組みが評価できる。(岩井委員)・情報システム科での実務経験を意識したCAD, WEB デザインの授業、また、情報ビジネス科の商業分野への変更と企業と直接かかわりの学習は生徒にとって有意義な学びとなると感じた。(西川委員)・実践的授業の実施について具体的に計画がなされている。検定合格向上に向けた施策が出来ている。(竹田委員) <p>◇第2回</p> <ul style="list-style-type: none">・実践的授業の実施や実務経験者による授業の実施など教育内容の質向上に努力されている。(岩井委員)・授業でなかったことと社会に出てからの方が圧倒的に知ることが多いので企業との実習を取り入れてはどうか。(角谷委員) <p>→責任感に関しては外部企業との実習を通して学ぶことが多く重要。(竹田委員)</p> <p>→実習授業での学びは学生にとって貴重な体験になっていると学生の成長を通して実感できる。今後も企業と連携した授業を増やしていきたい。(山上委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・情報システム科では実社会のニーズに合わせたより実践的な授業の実施している。情報ビジネス科では産学連携による地域企業との取り組みの実施をしている。グローバルコミュニケーション科では合格率のUPにつなげる授業を実施している。(竹田委員)
2. 学習環境の整備
<p>【評価】 4</p> <p>【意見】</p> <p>◇第1回</p> <ul style="list-style-type: none">・実習に必要な校具、教具の充実だけでなく、学生満足度の向上への取り組みもいい。トイレ、駐輪場、スペース等学生の要望に出来る限り答えて頂けたら嬉しい。(岩井委員) <p>→順次、必要なところから改善していく予定。今校具に関しては8月に駐輪場や一部教室の机などを入れ替える予定。(山上)</p> <ul style="list-style-type: none">・学生の意見を取り入れた環境設備、学校の理念にあわせた学びの環境設定は非常に大切だと感じる。(西川委員) <p>→実習を行う設備を導入する予定であり、計画的に行っている。(南委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・多様性の講話など時代のニーズに沿った学生対応がいい。(西川委員)・具体的な計画がなされている。学生のことを中心に、取り組みが出来ている。(竹田委員)・飲食を兼ねたスペースがあったほうがよい。休憩スペースをすることにより学科を超えたコミュニケーションができるのではないかと。(角谷委員) <p>→整備する予定。(山上)</p> <p>◇第2回</p> <ul style="list-style-type: none">・教室の机の入替、駐輪場、トイレの整備などを行った。(南委員)・実習に必要な校具、教具の充実、パソコン実習室の整備、学生満足度の向上など環境が整っていて今後も設備予定のため満足を得られる環境である(岩井委員)

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も必要機器の充実化、教室の拡充、休憩エリアの充実をしてほしい(竹田委員)
<p>3. 教職員の質向上</p>
<p>【評価】 3</p> <p>【意見】</p> <p>◇第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生対応力、学生指導力の向上、スキルアップに努めていることが評価できる。(岩井委員) ・保護者との連携はとても良い。(西川委員) ・職員一覧や職員配置図で分かりやすく。新しい教室が増えるので学校マップなどの整備が必要。(竹田委員) <p>◇第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語教師全員が登録日本語教員になる準備を始めている。(片口委員) ・教職員の学生対応力、学習指導力の向上、専門分野のスキルアップとより上を目指されているところを今後も期待したい。(岩井委員) ・今後も職員室の整備、効率化、勉強会への参加などを行ってほしい。(竹田委員)
<p>4. 広報の強化</p>
<p>【評価】 4</p> <p>【意見】</p> <p>◇第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校認知度向上の取り組み、他大学などの差別化などに努めていることが評価できる。(岩井委員) ・第一学院でも体験授業はとても好評。生徒自身が実際に体験できることが魅力かもしれない。グローバル科の入学時におけるレベルの担任も重要だと感じる。(西川委員) ・具体的な計画に基づき実施できている。グローバルの入学時の選別が上手く出来ている。受け入れの実施サポートが出来ている。(竹田委員) <p>◇第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸で唯一ウクライナの避難民を受け入れている。(片口委員) ・オープンキャンパスやホームページなどがニーズに応えられているか。(南委員) <p>→オープンキャンパスでは短い間だったが個人個人に対応しているように感じた。入学後にも聞きたいことや、やりたいことに対応してくれている。(岩井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TVCMをよく見るようになり学校の認知度も向上していると感じる。定員の充足、学校の差別化にも取り組まれており、個別に寄り添った教員の周知はとてもいい。(岩井委員) ・広報活動の充実、11校の中での差別化、多国籍化の達成などができている。(竹田委員)
<p>5. キャリア支援の強化</p>
<p>【評価】 4</p> <p>【意見】</p> <p>◇第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職率、キャリア支援の取り組み、産学連携の強化など評価できる。(岩井委員) ・産学連携の強化は地域貢献になる。これからの人手不足が予測される市場においてもとても大切だと感じる。(西川委員) ・就職確定後のモチベーション。グローバルコミュニケーション科の日本への定着率が知りたい。(竹田委員) <p>◇第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職率、志望先への進学、キャリア支援の満足度、いずれも高くインターンシップの実施、学内会社説明会など産学連携の強化も行われており、十分な支援である。(岩井委員)

	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル冊子の作成、入学前教育、進学・就職率 100%に向けての取り組みの実施されている。(竹田委員)
6. ガバナンスの強化	
	<p>【評価】 4</p> <p>【意見】</p> <p>◇第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育機関として適正校（クラス1）の承認に向けての取り組み等評価できる。(岩井委員) ・学校運営において長期的見直しと計画、修正は重要。PDCA サイクルを実践していく姿勢はとても評価が高いと感じる。また適正校の承認を目標としているところもいい。(西川委員) ・リスクマネジメントについて具体的な計画がなされている。適正校の承認に向けて取り組まれている。(竹田委員) <p>◇第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDCA サイクルによる実績管理は見直しを行い実施中。リスクマネジメント、業務効率向上にも取り組まれているので更なる改善に期待します。日本語教育機関として『適正校（クラス1）』の承認を受けられてよかった。(岩井委員) ・職員の実績管理、現金の取り扱いへの注意を実施、クオカード、日本語教育機関クラス1の承認など様々な取り組みをしている。(竹田委員)
8. その他	
	<p>【評価】</p> <p>【意見】</p> <p>◇第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生が増えているが、留学生が生活していく中で地域にどのように映るか。(南委員) <p>→あまり意識はしていない。しいて言えばコンビニで働いている外国人をよく見かけるので地域に根付いていると感じる。(坂本委員)</p> <p>◇第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし

(2) 評価項目ごとの評価・意見

(1) 教育理念・目標	
【評価】 3	【意見】 ・社会経済のニーズ、業界のニーズに対応できるよう今後の取り組みを期待します。(岩井委員) ・小・中でプログラミング必修となり5年、卒業生が入学してくるので業界ニーズと集約し、学生と企業とのつなぎこみを行ってほしい。(竹田委員)
(2) 学校運営	
【評価】 3	【意見】 ・明確な事業計画書がないため事業計画を策定し、適切な運営を行っていくとのことなので早急に取り組んでいただきたい。(岩井委員) ・事業計画書の策定を進めて頂く。(竹田委員) →取り組んでいく。(南委員)
(3) 教育活動	
【評価】 3	【意見】 ・業界が求める人材の把握は大切だと思うのでニーズに合った人材育成が必要。カリキュラムの社会ニーズに合わせた見直し改善もさらに期待します。授業生活アンケート情報を活用できればより良い教育提供が出来る。(岩井委員) ・アンケート結果を活用した振り返りの実施をしてほしい。教員の学びの機会を増やす。(竹田委員) →アンケートを取っているが活用がうまく出来ていない。仕組みを作り活用していく。(山上)
(4) 学修成果	
【評価】 3	【意見】 ・個人の状況に応じた対応で出席率の向上を行い、卒業生の状況把握についても難しいと思いますが、今後でも対応していただけたら。(岩井委員) ・退学率低減への対応が必要。(竹田委員) ・卒業生の学校評価のフォードバックが必要。(坂本委員)
(5) 学生支援	
【評価】 4	【意見】 ・学生相談をきめ細かく行い、一人一人に寄り添った教育が実施できるといい。卒業生に対しても支援があると良い。(岩井委員) ・学生への支援体制の充実化。卒業生への支援も続けていく。(竹田委員)
(6) 教育環境	
【評価】 3	【意見】

<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備に関して社会、学生のニーズに応じて整備し、防災については大切なことなので早急にマニュアルの整備改善等行うようお願いする。(岩井委員) ・少しずつ改善されてきている。(竹田委員)
(7) 学生の受入れ募集
<p>【評価】 4</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は適正に行われており、今後も情報提供等を行い、WEB, TV、オープンキャンパス等で周知につとめて頂くと良い。(岩井委員) ・WEB、動画の活用、多言語対応をすすめる。(竹田委員)
(8) 財務
<p>【評価】 4</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率を上げ、十分な財源確保を行っていけば財務基盤が安定するようなので広報等で定員に達する努力をお願いする。(岩井委員) ・財務基盤の安定化と定員充足率の向上を目指してほしい。(竹田委員)
(9) 法令等の遵守
<p>【評価】 4</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な取り組みがされているようなので継続していただければいい。(岩井委員) ・認定校としての対応が出来ている。(竹田委員)
(10) 社会貢献・地域貢献
<p>【評価】 4</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会、地域に貢献できる取り組みまたボランティア活動に参加を促す、呼びかけ等継続して行う必要がある。(岩井委員) ・災害への対策、地域ボランティアを行う。(竹田委員) ・ボランティアに参加するような学生は自分方向性がしっかりもっていると思う。(坂本委員)
(11) 国際交流
<p>【評価】 3</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流をさらに明確なシナリオに基づき行い、Facebook 情報発信をふやして教育活動、学修成果の周知をお願いする。(岩井委員) ・学内、学外でに日本人と留学生との交流をより積極的にし、その発信をもっと行った方がよい。(竹田委員)
(12) 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果
<p>【評価】</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし